

が少なくなることを危惧し、自ら旗振り役になって創薬の魅力を伝えるための啓蒙書「新しい薬をどう創るか」を、京大薬学研究科の若手教授陣で共同執筆し、ブルーバックシリーズ（講談社）から出版。今回の講演会も、そういった松崎氏の思いが込められたもの。

創薬の面白さ、薬剤師の魅力伝える

講演の中で松崎氏は、戦後著しく平均寿命が延びたり、手術でしか治らなかった病気が、今では一般の薬局や薬店で販売されている薬で治ることなどを紹介しながら、薬の素晴らしさを解説した。

さらに、これまでによい薬がノーベル賞の受賞にもつながっている点にも触れ、「薬学はその研究成果が、直ちに社会に役立つ学問」として、薬学の社会貢献度が高いことを強調した。

信念あれば 世に薬出せる

北里大・長瀬氏

東レ時代の経験披露

北里大学薬学部教授の長瀬博氏は、当時、医薬研究を行っていなかった東レに入社。医薬研究の素人集団で、かつ弱小チーム（合成3人＝全て理工学部出身者、薬理3人＝うち2人はテクニシャン）で、アップジョン

薬の開発には長い年月と、膨大な費用がかかる点を説明し、「薬で病気が治せる世界を築きたい。それには皆さんの若い力が大事。皆さんの手でそれを実現してほしい」と創薬に携わってほしい思いを伝えた。

一方、薬学には「薬を正しく使う大事な仕事がある」として、薬剤師の業務も紹介。また、4年制と6年制の教育システムの違いにも触れ、多彩な進路があることも紹介した。

や小野薬品など、世界で40社以上が研究に凌ぎを削っていたプロスタグランジン（PG）研究に参入し、世界初の経口PGI₂製剤「ドルナー」の開発に成功し、上市した経験を披露。

「構造を安定化させるための合成に明け暮れた。アップジョンが報告した構造をもとに、各社は模倣品をこぞって合成したが、われわれがこの競争に勝つためには、まねをしても勝てない、独自の構造を考案する戦略をとった」として、世界で東レのみがPGI₂の安定化に成功したという。

安定化構造をもとに、薬理評価を行うためにPGI₂誘導体を各種作製。薬理グループはラットでの評価を主張する一方、合成チームはヒトでの評価を譲らなかった。妥協点として、長瀬氏ら合成研究者の血液で評価を行ったところ、最高活性を示す誘導体がラットとヒトでは異なる結果を得た。

長瀬氏は、「ラットで評価していたら薬は世に出なかった。一見、人道的に見える意見がいつも正しいとは限らない。反対が多くても自分が正しいと思うことを貫く信念が必要」と、その研究成果から



の教訓を紹介した。

長瀬氏が東レ時代にかかわり、もう1品目を上市させている。それが、今年3月に発売された止痒薬「レミッチカプセル」。同剤は選択的オピオイドκ受容体作動薬で、世界で初めてモルヒネから麻薬性（依存性）を分離した薬。

世界レベルのκ受容体作動化合物の合成研究の競争に巻き込まれながら、弱小チームで挑み、人まねはせずに独自構造で勝負するという信念の下、研究に取り組んだ成果が、成功につながった点を強調した。

科学に興味を持ち研究を続けければ、必ず成果はついてくるとした上で、「本当に患者を助けたいという信念があれば、君も薬を世に出せる」と長瀬氏は訴え、創薬研究に従事してほしい思いを伝えた。

さらに、神戸大学大学院医学研究科教授で同学病院薬剤部長の平井みどり氏は、薬の効き方や、薬のみ方、使い方、注意点などに触れながら、薬剤師の仕事内容や役割について解説した。



ジュニア向け講演会で講演する長瀬氏



ミキ薬局

経験と実績を積み重ねて30年 私たちは歩み続けています。



人と人とのコミュニケーションを育みたい。そしてそれが大きな幹(ミキ)から伸びる枝葉のように、未来に向かって広がってほしい。それが私たちの希いです。

株式会社 メディカルファーマシー 〒162-0056 東京都新宿区若松町9-12 KSビル 2F TEL 03-5368-2011

採用に関するお問い合わせは

人材開発部 saiyou@miki.ne.jp
http://www.miki.ne.jp

設立/昭和54年2月 資本金/5,000万円 売上高/114億円 従業員数/245名(薬剤師171名)
事業所/東京都17店舗、神奈川県5店舗、千葉県・埼玉県・栃木県・山梨県各1店舗